



# 大杉東小だより

令和8年4月30日NO. 2

江戸川区立大杉東小学校 校長 望月 潔

## 関わり合っこそ、学校

新年度が始まってまもなく1か月がたとうとしています。校内は新学期らしい緊張感とやる気に満ち溢れた姿が多く見られ、とても嬉しく思っています。

- 1年生…入学当初は心配そうな顔つきの子もいましたが、学校生活のルールも徐々に覚えて、笑顔で登校してきています。あいさつも元気いっぱいです。
- 2年生…1年間の成長は大したものです。返事やあいさつの声も力強くなって、ぐっと大きくたくましく見えます。
- 3年生…水道のない教室にも慣れてきました。外遊びが大好きで、校庭のあちこちで元気に走り回る姿を見かけます。
- 4年生…音楽や図工、そして体育。教室を移動する時には、目を輝かせています。楽しみにしていたクラブ活動も始まりました。
- 5年生…いよいよ高学年の仲間入り。気持ちをしっかり切り替えて進級した様子が伝わってきます。委員会活動もスタートして張り切っています。
- 6年生…1年生のお手伝い、委員会、運動会準備…さっそく大活躍の日々です。実に頼もしい最高学年です。

こんな風に、学校にはいろんな年齢・学年の子供たちがいて、発達段階に応じて様々なことを学び、活動しています。同学年だけでなく、異学年でも関わり合い、支え合って生活していくのが小学校です。上級生は下級生の支援をし、下級生は上級生の背中を見て学ぶ。今年の1年生も、6年生になった時には新入生を優しくサポートしてくれることなのでしょう。そうやって、社会生活の営みを学んでいきます。学校生活は、社会生活の入り口なのです。

ICTの進歩は目覚ましく、そう遠くない未来に、人工知能(AI)が学校生活にも本格的に参入してくることでしょう。しかし、このような『関わり合い』によって育つ力だけは、どんなに優れた人工知能をもってしても育むことができません。人を思いやり、寄り添い、支えようとする力。人に憧れ、夢をもち、叶えようとする力。これらの力は、年齢を超えた人と人との関わり合っこそ養われ、伸びていきます。そこにこそ、学校の醍醐味・存在価値はあると私は思います。

本校では、今年度も、異学年でも関わり合い、支え合う活動や行事をしっかりと実施してまいります。そのひとつが、まもなく行われる運動会です。できるだけ全校の一体感が感じられ、関わり合いのある行事にしていこうと職員一丸となって計画しているところです。詳細は改めてお知らせいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

まもなく大型連休に入ります。連休中も安全第一で過ごせるよう、交通安全や帰宅時刻などについてご家庭でもご確認下さい。また連休明けからは各学年とも運動会に向けて体力を使うことが予想されますので、体調管理にもご協力下さい。よろしく願いいたします。